



# Risk Flash No.192 (Vol.5 No.34)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター  
発行責任者：リスク研究センター長 久保英也

- 卒業生の視点①：陵水会員の絆・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 1
- 卒業生の視点②：学生時代に学んだこと・・・・・・・・・・Page 1
- 教員紹介：梅津高朗・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 2
- リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 3

## 卒業生の視点①

### 陵水会員の絆

河原崎貞弘(大学8回卒)

私は昭和35年に経済学部を卒業し、損保会社に就職した者です。在学中は石田興平教授のゼミで学び、卒業後も石田ゼミの出身者が年1回集まる「石田ゼミの会」に出席し、長い間多くの先輩後輩とお付き合いさせていただきました。滋賀大卒、石田ゼミ出身というだけで、何の障害もなく素直に話ができるのも不思議なことですね。損保業界のことはある程度分かっても、他業界のことはわかりにくく、そうしたことが先輩後輩から容易に聞くことができますし、他業界が損保業界をどう見ているかも、教えてもらうことができ、自分の仕事に活かすこともできます。これは個別的な利益を求めるのではなく、多面的な見方を教えてもらえるということです。石田ゼミでは、年1回「いしだゼミの友」(図書館の石田記念文庫にあり)を発行してきましたが、しばらくこの世話役をさせてもらったこともあり、こうした経験で、私の人生もより豊になったことと思われまふ。またゼミの先輩の依頼で、大阪陵水会の新聞発行の責任者をやらせてもらいましたが、お陰で大阪陵水会に多くの知人を得ることができました。

大学は単に知識を得るだけでなく、人の繋がりを大切にし、後々の人生の大きな糧を得るところだと思います。現役を退いた今、毎週送っていただいている「リスクフラッシュ」を楽しみにし、陵水会会員であることを誇りに、その絆を大切にしたいと思います。

## 卒業生の視点②

### 学生時代に学んだこと

高井マサ代(大学38回卒)

学生時代の活動といえば、夏休み明けの50枚の論文が私のすべてです。それがその後の生活に及ぼした影響は測り知れないと思います。私は一生をかけて、あらゆる角度から自分の論文を検証しています。とにかく行動し発信しています。その反響によって正否を判断しています。非常に用心深くなりました。まさに最も興味のあることはリスクです。自由とリスクは隣り合わせ、誰も信用できないから、いつも一人です。というよりも、誰とでも一定の距離を持って付き合っています。頼り過ぎず、あてにせず、というところでしょうか。だから、めったに人間関係のトラブルは起こしません。人に対して腹を立てることもありません。学生時代だけではなく卒業後も誇りと自信を失わず、自分の頭で考え続けることを希望します。人間の能力は大して変わらないのですから、卑下も優越もありません。

## 教員紹介「梅津高朗」

2013年4月より経済学部情報管理学科の准教授を努めさせて頂いております梅津高朗と申します。本学では「情報ネットワーク I」、「同 II」、「マルチメディア情報処理」などの科目を担当しております。研究分野は情報通信で、特に移動体通信とその技術を応用して道路交通などの安全性、効率性、快適性などを高めることを目的とした高度交通システム (ITS、Intelligent Transportation System) になります。



博士(情報科学)を取得するまでは、複数のコンピュータを協調動作させるプログラムをシンプルかつ安全に設計するための手法を主な研究テーマとし、その知見を応用する形で移動体通信への応用研究へと重点を移してきております。主要な研究業績としては、効率的な車車間通信方式の提案や、車車間通信を用いた危険運転の検出手法、および、現実的なシミュレーションによるその性能評価などがあります。車車間通信方式は、携帯網などのインフラを用いずに自動車同士で直接無線通信させる、モバイルアドホックネットワーク (MANET、Mobile Ad-Hoc Network) と呼ばれる方式です(携帯ゲーム機のアドホックモードなどと同様の仕組み)。現在は、プローブカーと呼ばれる自動車からリアルタイムに収集されるデータの応用や、CO<sub>2</sub>排出量削減を目的とした信号制御手法の研究などを行っております。

学会としては主に情報処理学会に所属し、その中でも「高度交通システムとスマートコミュニティ (ITS) 研究会」の幹事や運営委員などといった世話役を長らく務めさせて頂いております。この研究会が年に 1 回、開催しておりますシンポジウムが下記の通り開催予定となっております。ご興味、ご関心ありましたら、是非ご参加下さい。詳細や参加申し込みは下記のホームページからご確認下さい。

高度交通システム (ITS) 2015 シンポジウム

<http://www.ysr.net.it-chiba.ac.jp/sigits/sympo2015/>

開催日:平成 27 年 1 月 30 日(金)

会場:愛知県長久手市 トヨタ博物館

参加費:有料(一般:15,000 円など。関連学会員に対する割引あり)

プログラム:

1. 政府・経済産業省における自動運転関連の取組 山家 洋志 (経済産業省)
2. 自動運転技術を活用した高度運転支援開発 田口 康治 (トヨタ自動車)
3. 次世代に向けた“つながる”新価値の創造 相原 誠 (トヨタ自動車)
4. 「都市の進化」と「交通/モビリティ」 手嶋 茂晴 (名古屋大学)
5. モビリティが見守る道路インフラ維持管理 八木 浩一 (バンプレコーダー株式会社)
6. 各国の事例から見る電動車普及のソリューション 志村 雄一郎 (三菱総合研究所)

(情報管理学科准教授 うめ づ たかあき 梅津高朗)

## リスク研究センター通信

### ◆ 森林ワークショップ報告

<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/5/11:10>

リスク研究センターでは、平成26年12月11日(木)環境プロジェクトの一環として第6回森林生態ワークショップを開催いたしました。



### ◆ 韓国水環境産業セミナー報告

<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/5/11:9>

リスク研究センターでは平成26年12月18日(木)、滋賀大学大津サテライトプラザにて韓国水環境産業および第7回世界水フォーラムについてのセミナーを開催しました。



### 「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

#### 【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

#### 【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

#### 【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

#### 【免責事項】

1. 配信メールが回線上的問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

#### 【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変してblog等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

\*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

\*当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、菊池健太郎、  
金秉基、久保英也、柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局（Office Hours:月一金 10:00-17:00）  
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1-1-1 TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

e-mail: [risk@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:risk@biwako.shiga-u.ac.jp)

Web page: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>